



令和7年度 宮城県白石高等学校蔵王キャンパス 学校評価アンケート 集計結果

I 調査対象・実施期間等

◆区分・対象等

区分	対象・期間・方法
教職員（自己評価）	<対象> 教職員（非常勤講師除く） <期間> 令和7年11月27日（木）～12月12日（金） <方法> Webフォーム
生徒（外部アンケート）	<対象> 1学年 <期間> 令和7年11月27日（木） <方法> Webフォーム
保護者（外部アンケート）	<対象> 1学年（※ 蔵王高校を除く） <期間> 令和7年11月27日（木）～12月12日（金） <方法> 調査票（紙媒体）

◆回答率

	対象人数	回答数	無回答	回答率	備考
教職員	26	26	0	100	蔵王高校教職員を含む
生徒	17	13	4	76.5	1学年のみ
保護者	17	15	2	88.2	1学年のみ

II 全体的傾向 ※ 集計データの詳細は、別紙資料1及び資料2（①～③）参照。

1 自己評価（教職員）

- 肯定的評価（1+2：%）が80%を超えた項目は24項目、80%を下回った項目は7項目であった（全31項目）。
- 今後の課題（60%台以下）として、特に「家庭学習の充実」「基本的な生活習慣の確立（挨拶・マナー指導）」「活発な部活動・愛好会活動」「清潔な学習環境の維持（清掃活動等）」について工夫・改善に取り組む必要がある。
- 自由記述では、今後の学校運営に関する記載が見られた（1名）。

2 外部アンケート

(1) 生徒

- 肯定的評価（1+2：%）が80%を超えた項目は22項目、80%を下回った項目は3項目であった（全25項目）。
- 今後の課題（60%台以下）として、特に「進路目標の明確化に向けた指導」について工夫・改善に取り組む必要がある。
- 自由記述では、学校生活に関する感想の記載が見られた（1名）。

(2) 保護者

- 肯定的評価（1+2：%）が80%を超えた項目は15項目、80%を下回った項目は10項目であった（全25項目）。
- 今後の課題（60%台以下）として、特に「防災教育の充実」「学習意欲を高め、学力を身に付けられる授業運営」「基礎・基本の定着と振り返りを重視した学習指導」「基本的な生活習慣の確立（挨拶・マナー指導）」「いじめ問題への対応」「進路に関する情報提供」「進路相談の実施」「充実したPTA活動」について工夫・改善に取り組む必要がある。
- 自由記述では、質問として暖房の稼働に関する内容（1名）、要望として授業運営や環境美化に関する内容（1名）が見られた。

Ⅲ 各領域の分析・考察

1 教育課程・学習指導

質問 N o	項 目	分析・考察 ※ ○：結果、◆：本年度の取組、□：次年度の方向性
31	スクールポリシーに基づいた教育課程の編成・実施	<p>○自己評価における肯定的評価は84.6%で、外部アンケートの生徒と比較すると7.7ポイント、保護者との比較では2.1ポイント低かった。</p> <hr/> <p>◆蔵王キャンパスの教育目標は、学校沿革やキャンパス設置に至る経緯、入学生の状況等を踏まえて、蔵王高校と同様のものとしている。また、教育目標との関連からスクールミッションやスクールポリシーを策定し、学習指導など各種教育活動については、これらの内容・重点目標を十分に踏まえた上で実践してきた。</p> <p>◆蔵王高校では、町内唯一の高等学校として、地域との緊密な連携のもと「魅力ある学校づくり」を推進し、クラブ・ジオパーク活動を要としたカリキュラム・マネジメントに取り組んできた。蔵王キャンパスにおいても、地域社会で果たすべき役割について教職員間の共通理解を図り、生徒や保護者からより一層信頼される学校運営に努めてきた。</p> <p>◆スクールミッションやスクールポリシーはホームページで公開するとともに、教育目標と合わせて「入学のしおり」にも掲載した。</p> <p>◆本校の教育課程の特色は、第1学年に基礎科目を配置し、第2・3学年に就職・進学に対応する選択科目群、介護福祉士初任者研修認定につながる福祉科目の選択科目群を設定していることがあげられる。また、ホームルーム活動（LHR）及び総合的な探究の時間（蔵王タイム）を各学年2単位ずつ設定している。</p> <hr/> <p>□引き続き、教育目標やスクールポリシーに則った教育活動の実践に努めていきたい。</p> <p>□学校評価（外部アンケート）の結果を総合的に勘案し、学校運営の方針（重点）について見直していきたい。</p>
8 9 10	<p>8 学習意欲を高め、学力を身に付けられる授業運営（TTの実施・効果）</p> <p>9 基礎・基本の定着と振り返りを重視した学習指導（TTの実施・効果）</p> <p>10 家庭学習の充実</p>	<p>○質問N o 8について、自己評価における肯定的評価は92.3%で、外部アンケートの生徒と同値であった。保護者との比較では19.0ポイント高かった。</p> <p>○質問N o 9について、自己評価における肯定的評価は84.6%で、外部アンケートの生徒と比較すると15.4ポイント低く、保護者との比較では24.6ポイント高かった。</p> <p>○TTの実施・効果に関する外部アンケートの肯定的評価は、生徒で92.3%、保護者で93.3%と高い水準を示した。</p> <p>○質問N o 10について、自己評価における肯定的評価は15.4%で極めて低い値を示した。</p> <hr/> <p>◆多くの教員が開かれた授業運営に努め、日頃から生徒の実態を考慮した教材作成や指導方法の工夫、ICT利活用に関する意見交換をするなどして相互研鑽に努めてきた。また、蔵王高等学校における「通級による指導（自校通級）」の実績に基づく「学びのユニバーサルデザイン（UDL）」を積極的に導入するよう努めている。</p> <p>◆本年度は、国語・数学・体育・情報の授業で、複数の教員によるTT（チームティーチング）や習熟度別学習を実施しており、上記の取組に加えて個に応じた学習指導の充実を図ってきた。</p> <p>◆上記の取組を基盤としながら、各学年で実施している朝学習（あすなるタイム）の時間を有効活用するなどして、学ぶ楽しさを味わわせ、より一層「わかる喜び」や「できる自信」をもたせることができるよう努めてきた。</p>

		<input type="checkbox"/> 現在の取組をより一層充実させるとともに、生徒一人ひとりが自身に合った学び方を見つけられるよう、適切な支援等を行っていききたい。 <input type="checkbox"/> シラバスを効果的に活用し、生徒に学習の見通しをもたせるとともに、学習内容の教科間の関連性を意識させたい。また、学習評価の方法についても記載し、評価の公平性・信頼性を高め、生徒・保護者に対する説明責任を果たしていききたい。 <input type="checkbox"/> 生徒一人ひとりが「わかる喜び」や「できる自信」を実感できるような教材や指導方法の研究、個に応じた指導の充実を図るとともに、日頃から教員同士で相互研鑽を深められるような職場環境としたい。
28	ICT機器の利活用	<input type="checkbox"/> 自己評価における肯定的評価は96.2%で、外部アンケートの生徒と比較すると3.8ポイント低かった。 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> 各教科の学習指導や学校行事等でICT機器の利活用を進めてきた。コロナ禍以降、生徒はタブレット端末に触れているため、学習指導上の不具合等は見られない。 <input checked="" type="checkbox"/> 全県立高校において、令和8年度入学生よりタブレット端末等を保護者負担で購入することとしていることから、機種・購入方法等を検討してきた。蔵王キャンパスでは、機種をChromebookとし、県が開設するECサイトを介した購入を進めることとした。 <hr/> <input type="checkbox"/> 質問No8・9と関連も含め、引き続きICT機器の利活用を推進し、情報活用能力の育成を図っていききたい。関連して社会生活における情報モラルの育成にも努めていききたい。 <input type="checkbox"/> 令和8年度入学生に係るBYODの対応については、オープンキャンパス（中学生対象）や個別相談で説明済みである。詳細は、合格者準備登校で説明する予定である。

2 生徒指導・教育相談

質問No	項目	分析・考察 ※ ○：結果、◆：本年度の取組、□：次年度の方向性
11	基本的な生活習慣の確立（挨拶・マナー指導）	<input type="checkbox"/> 自己評価における肯定的評価は61.5%で、外部アンケートの生徒と比較すると38.5ポイント、保護者との比較では5.2ポイント低かった。 <hr/> <input checked="" type="checkbox"/> 日頃から担任や学年教員を中心に、TPOに応じた挨拶・言葉遣い、制服の着こなし等について指導するとともに、欠席や早退しがちな生徒の保護者に対しては、小忠実に連絡をするなどして支援に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 各種集会や外部講師等による学習会の際は、自己点検を促し場に相応しい身だしなみ等への意識の醸成を図るようにしている。また、衣替え等の節目の時期には、一斉登校指導（挨拶・服装・通学マナー等）に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 白石警察署によるネット被害未然防止教室を実施し（4月）、若年層の犯罪被害の実態や闇バイトの問題などについて学習した。また、SNSの適切な利用等についても触れていただき、よりよい人間関係の在り方について考える機会を設けた。 <input checked="" type="checkbox"/> 長期休業前後の全校集会や学年指導で生活全般に関する指導を行うとともに、長期休業後には生徒の状況を観察し、必要に応じて個人面談をするなどして、学校や家庭生活の悩み・不安などを聴き取るようにしている。 <hr/> <input type="checkbox"/> 引き続き、求める生徒像の具現化に向けた生活指導の取組を充実させるためにも、全教職員による細やかな支援・指導に取り組み、生徒の健全育成に努めていききたい。 <input type="checkbox"/> スマートフォン等の情報端末、SNSやゲームアプリ等については、利活用の程度により、心身の健康や基本的な生活習慣等に

		悪影響を及ぼすとともに、重大な犯罪被害に巻き込まれるなどの危険性も孕んでいる。これらの抑止には、保護者の理解と家庭生活におけるルールづくりなどの協力も必要である。日頃の生徒指導に加えて、家庭の協力も求めていきたい。
15	いじめ問題への対応	<p>○自己評価における肯定的評価は100%で、外部アンケートの生徒と比較すると7.7ポイント、保護者との比較では40.0ポイント高かった。</p> <p>◆開校年度当初に「学校いじめ防止基本方針」を策定し、教職員に周知するとともに、学校HPに掲載した。</p> <p>◆いじめ問題については、定例の「いじめ問題対策委員会」を実施した（7月：蔵王高校と合同）。</p> <p>◆いじめの未然防止と早期発見を図るため、生徒に対して毎月「学校生活アンケート」を、保護者に対しては隔月「いじめ調査」を実施している。この他、冬季休業期間中に「いじめ対応」をテーマとした職員研修を実施し、職員のいじめ問題に対する意識を高めるとともに、より実効的な組織的対応を図ることができるよう努めた。</p> <p>◆校内の相談窓口（副校長担当）として、「体罰・いじめ・ハラスメント等校内生徒相談窓口」を開設（8月）し、生徒に周知した。</p> <p>◆いじめ問題への対応に関する職員研修を実施し、法的根拠に基づく適切な対応の在り方、具体的な事例を踏まえた対応のポイント等について学ぶ機会を設けた（12月：総合教育センター）。</p> <p>□上記の取組を着実にやっているところであるが、自己評価と外部アンケート（保護者）との乖離が大きいことから、改めて周知を図り、学校の取組について理解していただくようにする。また、令和8年度入学生に対しては「入学のしおり」に基本方針（概要版）を掲載するとともに、合格者準備登校で説明する予定である。</p> <p>□いじめ問題に対する意識や生徒の些細な変化を見逃さない姿勢をもつとともに、教職員間の情報共有と記録の蓄積、管理職への報告・相談などを図り、実効的な組織対応を進められるようにしたい。</p>
17	交通安全指導	○質問No17について、自己評価における肯定的評価は76.9%で、外部アンケートの生徒と比較すると7.7ポイント低く、保護者との比較では3.6ポイント高かった。
19	道徳教育の実施	○質問No19について、自己評価における肯定的評価は76.9%であった。
		<p>◆交通安全に関する指導として、白石警察署等による交通安全講話（5月）を実施した。本年度は、交通事故の未然防止に係る内容の他、自転車利用（ヘルメット着用等）に関する留意点を重点に指導した。</p> <p>◆蔵王町まちづくり推進課と連携してデートDVをテーマとした男女共同参画社会に係る人権教室を実施した（12月）。当日は仙台法務局大河原支局長による講演を行った。人権保障の観点から自他を思いやる生活の大切さについて指導した。</p> <p>□今後も身近な生活に係る安全教育や、社会における望ましい在り方生き方を考えさせる機会を多く設けていきたい。</p>
23	教育相談体制の充実（SC・SSW等）	○質問No23について、自己評価における肯定的評価は100%で、外部アンケートの生徒と比較すると7.7ポイント、保護者との比較では13.3ポイント高かった。
24	SC・SSW等との情報共有	○質問No24について、自己評価における肯定的評価は92.3%であった。

	<p>◆ S C (スクールカウンセラー) を年間 24 回、 S S W (スクールソーシャルワーカー) を年間 16 回配置している (いずれも蔵王高校兼務)。これらの人材の活用によって、生活指導や教育相談機能が充実しているものと思われる。</p> <p>◆ 学校生活支援員を配置し、校内外の巡回及び生徒指導に当たっていただいている。生徒に対して積極的に声かけをしていただくとともに、担任等に情報提供をしていただくことで迅速な対応ができています。</p>
	<p>□引き続き各専門家の協力を得ながら、学校生活や家庭生活 (社会生活) の支援に当たっていききたい。また、日頃より情報共有を適切に行い、実効的な教育相談体制の充実を図りたい。</p>

3 特別活動 (学校行事・生徒会活動・LHR)・部活動 (愛好会活動)

質問 N o	項 目	分析・考察 ※ ○：結果、◆：本年度の取組、□：次年度の方向性
4	有意義な学校行事	<p>○自己評価における肯定的評価は 88.5% で、外部アンケートの生徒と比較すると 3.9 ポイント高く、保護者との比較では 4.8 ポイント低かった。</p> <p>◆体育的行事として、スポーツ大会 (9 月下旬) を実施した。蔵王高校も含め生徒数が減少していることから、競技種目はバレーボール、バドミントン、卓球の 3 競技としている (クラスマッチ形式)。企画・運営は、保健・体育委員会が中心となって行った。</p> <p>◆文化的行事として、あすなる祭 (文化祭) (10 月下旬) を実施した。校内発表では主に体育館を会場に、クラス企画 (クラス CM コンテスト) や有志団体の発表を行った。一般公開では、模擬店 (蔵王高校 3 年生・PTA) の他、文化部の発表 (演奏・演示・展示) 等を行った。一般公開日は 200 名近くの来場者があった。その他の文化的行事として芸術鑑賞会 (11 月上旬) を実施した。本年度は、伝統芸能として津軽三味線の演奏 (一部体験) を鑑賞した。</p> <p>◆総合的な探究の時間 (蔵王タイム) や教科学習 (一部) の成果、進路活動の体験等を発表する「学習発表会」を実施した (1 月：ございんホール)。一年間の学びの集大成として、各活動に協力いただいた関係機関の関係者、蔵王町立宮中学校 2 年生を招いて盛大に行われた。蔵王キャンパス 1 年生は、国語科の教科横断的学習として「演劇～蔵王町の歴史～」、白嶺防災フォーラムにおける発表と関連付けた「蔵王町の災害を伝承する」、みやぎ高校生フォーラムの発表と関連付けた「蔵王町と戦争」の 3 テーマを発表した。</p> <p>□今後も各活動の目的・ねらいを大切にしつつ、生徒数の減少を踏まえた縦割り活動の展開、発表内容の精選等の工夫・改善に取り組んでいきたい。</p> <p>□令和 8 年度末の蔵王高校の閉校に伴い、「引継式 (仮称)」を検討している (令和 7 年 9 月：準備委員会設置)。今後、実施日 (令和 9 年 2 月初旬) や会場、内容等の詳細を検討していく予定である。なお、業務のスリム化、負担軽減を考慮し、令和 8 年度の学習発表会及び芸術鑑賞会を「引継式 (仮称)」に組み入れる方向で年間教育計画を調整している。</p> <p>□次年度は蔵王キャンパスとして初めての修学旅行を実施する (2 年生：12 月中旬・関西方面)。各教科における学びと関連付けながら充実した校外学習となるよう準備を進めたい。</p>
12	活発な部活動・愛好会活動	<p>○自己評価における肯定的評価は 53.8% で、外部アンケートの生徒と比較すると 38.5 ポイント、保護者との比較では 32.9 ポイント低かった。</p>

		<p>◆本年度の部活動・愛好会（2校合同）は、生徒の実態や活動実績等を考慮し、運動系3部・3愛好会、文化系5部・1愛好会を設置した。部・愛好会は任意加入とし、生徒が主体となった自主的・自律的活動を促すとともに、各生徒が家庭の実情や自分のペースで参加ができるよう配慮した。</p> <p>◆各団体とも、生徒が楽しめるよう無理のない活動計画を立案し、支援・指導に当たっている。</p> <p>◆蔵王町スポーツ振興課主催の「縁JOYモルック南東北交流大会」に1年生3名が参加した。ゲートボールと同様、生涯スポーツの観点から息の長い活動として定着させていきたい。</p> <p>◆文化部においては、JRC部が近隣地域のイベントなどにスタッフとして参加したり、美術部が地区美術展に作品を出展したりするなどしてきた。音楽部は、文化祭での演奏の他、定期的に昼休みのコンサートなどを実施している。また、茶道部や総合文化部（自然科学系）も定期の活動に取り組み、文化祭で日頃の成果を発表した。</p> <hr/> <p>□登録部員数や活動実績、高体連・高文連主催の各種大会等への参加実績等を参考に、部・愛好会の再編・統合や持続可能な部・愛好会活動の在り方を検討していきたい。</p> <p>□本年度は蔵王町ゲートボール協会の協力により、蔵王高校2年生で臨時的ゲートボール部を編成し、全国ゲートボール大会等に出場した。蔵王キャンパス1年生については、本競技への参加はできなかったが、次年度以降は積極的に関わらせたい。</p> <p>□生徒数減の状況を踏まえて、部・愛好会への所属に関わらず、有志による参加も考慮した柔軟な対応も進めていきたい。</p>
13	活発な生徒会活動（生徒会執行部・専門委員会）	<p>○自己評価における肯定的評価は73.1%で、外部アンケートの生徒と比較すると11.5ポイント、保護者との比較では0.2ポイント低かった。</p> <hr/> <p>◆学校行事等の企画・運営については、あすなる会（生徒会執行部）が中心となって取り組んでいる。また、専門委員会についても主体的な態度で各活動に取り組むことができるよう、きめ細かな指導をしている。</p> <p>◆各活動については、蔵王高等学校と白石高等学校蔵王キャンパスの生徒が合同で取り組むことから、あすなる会会則（生徒会規程）の改正を行った（前期生徒総会で協議・承認）。</p> <p>◆生徒会役員選挙（9月）を経て、1年生からは生徒会役員として副会長・応援団副団長が認証された（10月）。蔵王高校2年生の会長・副会長とともに各種行事の運営等に当たっているところである。白石女子高等学校蔵王分校時代に生まれた「あすなる会」という名称に込められた願いや思い、蔵王高等学校が積み重ねてきた伝統や校風を大切にしながら、任を全うするよう指導していきたい。</p> <p>◆生徒会役員選挙は、主権者としての意識を醸成するために、蔵王町より投票箱を借用して実施した。</p> <p>◆専門委員会は、HR活動運営・保健体育・あすなる祭・進路選挙・図書出版で構成している。各委員会では生徒の主体的な活動を促すとともに、自己有用感をもたせられるよう指導を工夫している。</p> <hr/> <p>□今後も多くの生徒が活躍できる場を設けるとともに、自己肯定感や自己有用感をもたせることができるような支援・指導に取り組んでいきたい。</p>
14	充実したホームルーム活動（LHR）	<p>○質問No.14について、自己評価における肯定的評価は92.3%で、外部アンケートの生徒と同値であった。</p>
18	コミュニケーションスキルの向上に向けた指導	<p>○質問No.18について、自己評価における肯定的評価は84.6%であった。</p> <hr/> <p>◆本校では入学生の傾向を踏まえて、教育課程に特別活動のホー</p>

	<p>ムルーム活動（LHR）を2時間設置している。ホームルーム活動では、ホームルームや学校における生活づくりへの参画、日常生活や学習への適応と自己の成長・健康安全、キャリア形成と自己実現等の内容を学ぶこととしているが、本校では特にその基盤として必要なコミュニケーション能力の育成を重視した指導を行ってきた。</p> <p>◆級友と意見を交わしたり、協働的な活動に取り組んだりするなどして、社会性や協調性が身に付けられるようにしている。また、総合的な探究の時間「蔵王タイム」においてもNPOの協力を得て、SST講座（ソーシャルスキルトレーニング講座）を数回実施するなどした。</p> <p>□学年間の交流を深められるような活動（ホームルーム単位の参加）なども実施し、異年齢間のコミュニケーションを図りたい。</p>
--	--

4 進路指導・キャリア教育

質問No	項目	分析・考察 ※ ○：結果、◆：本年度の取組、□：次年度の方向性
20	進路目標の明確化に向けた指導（総合的な探究の時間「蔵王タイム」における進路指導）	<p>○自己評価における肯定的評価は96.2%で、外部アンケートの生徒と比較すると27.0ポイント、保護者との比較では16.2ポイント高かった。</p> <p>○「蔵王タイム」における進路指導に対する外部アンケート（生徒）では、肯定的評価が84.6%と高い水準を示した。</p> <p>◆進路希望調査を年2回実施（4月・10月）し、生徒の希望状況を把握するとともに、上半期は科目選択説明会（5月）や三者面談（保護者面談：7月）を通して助言等を行ってきた。 ※ 就職希望：6～7割、進学希望：3～4割</p> <p>◆「進路のしおり」を発行し、各種ガイダンス等を通じて、進路実現に向けた見通しをもたせられるよう指導している。</p> <p>◆総合的な探究の時間「蔵王タイム」の進路探求学習では、職業理解に関する分科会形式のガイダンス、SPI入門テスト等を実施し、自己理解（適性）を深められる機会を設けた。</p> <p>□2年生では各種ガイダンスの他、「職業体験学習（実習）」の実施を計画している。また、年度末には進路キャリア形成部員や学年教員による進路相談（面談）も実施する予定である。</p> <p>□あすなろタイム（朝学習）や課外を有効に活用した進路対策等も実施したい。</p>
21	進路に関する情報提供	<p>○質問No21について、自己評価における肯定的評価は96.2%で、外部アンケートの生徒と比較すると19.3ポイント、保護者との比較では36.2ポイント高かった。</p> <p>○質問No22について、自己評価における肯定的評価は96.2%で、外部アンケートの生徒と比較すると3.9ポイント、保護者との比較では29.5ポイント高かった。</p> <p>◆進路に関する情報は、機をとらえて随時提供しているところであるが、保護者への伝達が十分に届いていない傾向にある。進路指導室前の廊下には、各種ポスター・パンフレット等を掲示・設置しているが、教室棟から離れているため1年生の活用状況は芳しくない。</p> <p>◆保護者に対しては、三者面談（保護者面談）の機会を通して進路情報を提供しているが、不十分な面があったと思われる。</p> <p>□教室棟にも進路に関する情報スペースを確保するなどして、より主体的に自己の進路について考えることのできる環境整備を図りたい。</p> <p>□三者面談（保護者面談）の機会を通して、進路情報を積極的に提供するとともに、生徒・保護者の卒業後の進路に対する思い</p>
22	進路相談の実施	

や願いを十分に考慮しながら、ミスマッチが生じないよう適切な助言をしていきたい。

5 特色ある教育活動・開かれた学校づくり

質問 N.º	項 目	分析・考察 ※ ○：結果、◆：本年度の取組、□：次年度の方向性
1 7	地域や伝統に根ざした特色ある学校づくり 地域の信頼を得る教育活動の実施	<p>○質問N.º1について、自己評価における肯定的評価は100%で、外部アンケートの生徒と比較すると15.4ポイント、保護者との比較では6.7ポイント高かった。</p> <p>○質問N.º7について、自己評価における肯定的評価は100%で、外部アンケートの保護者と比較すると6.7ポイント高かった。</p> <hr/> <p>◆蔵王高校における「総合的な探究の時間（蔵王タイム）」や「ジオ活動日（放課後活動）」を要とする「クラブ・ジオパーク活動」は、蔵王キャンパスが継承する方向性で実施してきた。</p> <p>◆ジオ・ウォークラリーやジオ・フィールドワークでは、蔵王町ジオパーク推進室やボランティアガイドの協力を得て、地域の自然や文化、歴史、防災の取組等について理解を深めることができた。また、ジオツアー実践学習では、各観光スポットにおける案内・誘導係を担当した（蔵王高校2年生が説明ガイド役）。各活動の前後では地域おこし協力隊の方による御指導もいただいた。</p> <p>◆ジオ活動日（年7回）には、校内花壇の整備・植栽等の環境美化活動に取り組み、豊かな情操を育めるよう指導してきた。</p> <p>◆県外の先進的な取組をしている小規模校を視察し（福島県立猪苗代高等学校）、地域協働教育の工夫や改善、運営・指導体制の参考に準備を進めているところである。</p> <p>◆「みやぎ高校生フォーラム」に1年生2名が参加し、ジオ活動などの特色ある取組や蔵王町の歴史（戦争と平和）についてポスター発表した。</p> <hr/> <p>□各教育活動の質の確保を考慮した工夫・改善が求められる。令和8年度には「地域パートナーシップ会議」を設置し、各関係機関の方々とよりフラットな関係性を築き、息の長い活動として持続できるよう意見交換と指導実践を進めていく予定である。</p>
2	防災教育の充実	<p>○自己評価における肯定的評価は96.2%で、外部アンケートの生徒と比較すると3.9ポイント、保護者との比較では42.9ポイント高かった。</p> <hr/> <p>◆本年度は、防災避難訓練を5回実施した。訓練想定は一般的な災害（地震・火災）等に加えて、地域性や学校の立地条件等を踏まえ、融雪型火山泥流や大雨洪水、不審者対応を実施した。</p> <p>◆火災避難訓練については煙中体験を実施し、訓練が形骸化しないよう工夫を凝らした。</p> <p>◆1学年では「避難所運営ゲームHUG」に取り組み（4月）、互いに知恵を出し合い、共助の在り方について学ぶ機会を設けた。</p> <p>◆みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会に1年生2名が参加した。</p> <p>◆前年度に蔵王高校が参加した「白嶺防災フォーラム」（主催：新潟県立糸魚川白嶺高等学校）に1年生がオンラインで参加し、クラブ・ジオパーク学習における学びの成果を踏まえて意見発表した。</p> <hr/> <p>□上記の取組について工夫・改善を行うとともに、ジオ・ツアーをはじめとするジオパーク学習の内容との関連付けながら、実践力を伴う生きた知識を身に付けさせていきたい。</p>

3	情報発信・広報活動（学校便り・HP等）	<p>○自己評価における肯定的評価は92.3%で、外部アンケートの生徒と比較すると7.7ポイント低く、保護者との比較では12.3ポイント高かった。</p> <hr/> <p>◆各活動については、学校HPで随時紹介するなど情報発信に努めてきた。また、8月より学校便り「蔵王の空に夢かける」を2～3月毎に1回発行し、生徒（保護者）に配付するとともにHPにも掲載した。保護者に対しては、PTA会報を通じて情報提供を行った。</p> <p>◆報道機関（新聞社・テレビ局）に各活動の情報を積極的に提供し、取材依頼するなどしてきた。また、蔵王町には「広報ざおう」に本校に関する記事を随時掲載していただいた。</p> <p>◆この他、近隣地域の中学生を対象にオープンキャンパスや個別説明をするなどして、本校に対する理解を深められるようにした。</p> <p>◆学校案内パンフレットは大河原教育事務所管内の中学校に送付した。また、在校生の出身中学校を訪問し（蔵王町・白石市・大河原町）、各中学校の第3学年主任や進路指導主事を対象に、各生徒の近況や学校の概要等を説明した。</p> <hr/> <p>□次年度以降も上記の取組を継続し、学校の魅力を発信していきたい。</p>
---	---------------------	---

6 施設設備・保健衛生

質問 No	項目	分析・考察 ※ ○：結果、◆：本年度の取組、□：次年度の方向性
25	心身ともに健康な生活を送るための指導（各種講話・保健便り等）	<p>○自己評価における肯定的評価は96.2%で、外部アンケートの生徒と比較すると3.9ポイント、保護者との比較では9.5ポイント高かった。</p> <hr/> <p>◆保健衛生に係る生徒向けの講話として、薬物乱用防止教室（6月）や精神保健研修会（2月予定）を実施し、自他の心身の健康保持に関する指導を行っている。</p> <p>◆定期的に保健便りを配付し、日常の健康管理や感染症予防に関する意識を高められるようにしている。</p> <p>◆献血事業に対する理解を深められるよう啓発した。</p> <p>◆体位測定をはじめ、各種検診・健康調査等は遺漏なく実施した。また、職員に対しても各種健診の実施の他、健康増進に係る各種事業の積極的な利活用を啓発した。</p> <p>◆学校保健委員会や衛生委員会を実施し、生徒の健康管理や校内の環境に関する事項、職員の健康に関する事業や在校等時間の管理などの働き方改革について協議した。</p> <p>◆保健室の利用状況については、傷病等の措置よりも、学習や進路、人間関係に関する相談を目的とする利用が多く見られる。</p> <hr/> <p>□引き続き入学生の実態や家庭環境や生育歴、既往症の有無等を早期に把握するとともに、教職員間で適切に情報を共有し、保護者と連携しながら学校生活の支援に当たりたい。</p> <p>□保健室の利用目的に応じて、SC・SSWに引き継ぐなどして対応を進めていきたい。</p>
26	清潔な学習環境の維持（清掃活動・環境美化等）	<p>○自己評価における肯定的評価は53.8%で、外部アンケートの生徒と比較すると23.1ポイント、保護者との比較では39.5ポイント低かった。</p> <hr/> <p>◆日常の清掃活動への取組は概ね良好であるが、生徒数の減少に伴い、施設全体の清掃が十分に行き届かない状況にある。各所においては、隔日・隔週等の当番にするなどして、年間を通してバランス良く清掃するよう工夫している。</p> <p>◆ジオ活動やJRC部の活動を通して、校舎中庭の花壇植栽等を行うなどして環境美化を図った。</p>

		<p>□項目N o 3 0に記載のとおり、施設の使用を制限するなどして通常清掃の対象箇所を減らすなど工夫したい。</p>
2 7	図書室の整備	<p>○自己評価における肯定的評価は1 0 0 %で、外部アンケートの生徒と同値であった。保護者との比較では1 3 . 3 ポイント高かった。</p> <p>◆図書室の整備や書架の整理が十分に行われており、清潔感のある空間が維持されている。生徒の学びのスペースとしても効果的に活用されている。</p> <p>□令和9年度以降の開館時間や貸出業務等の図書室運営の在り方を検討する必要がある。今後は図書室利用規程の見直し等も行っていきたい。</p>
3 0	校舎やグラウンドなどの整備（維持・管理）	<p>○自己評価における肯定的評価は8 0 . 8 %で、外部アンケートの生徒と比較すると1 1 . 5 ポイント、保護者との比較では1 2 . 5 ポイント低かった。</p> <p>◆校舎の構造としては斬新な面もあるが、築2 5 年以上経過することから、施設設備の一部に不具合が見られた（雨漏り・ボイラー不調・火災警報器誤作動等）。都度、事務室で修繕等の手配・対応を進めており、大きな問題とはなっていない。</p> <p>◆校舎及びその他の施設設備等の日常の点検・修繕等は、技師が随時行っている。</p> <p>◆部室棟の一部に外部の者と思われるいたずらが見られた（損傷の程度から警察への報告はしていない）。</p> <p>□令和9年度に向けて空教室が増える見込みである。選択科目や少人数グループの指導で活用する教室に割り当てる予定であるが、一部については「総合的な探究の時間（蔵王タイム）」等の学習成果（ポスターや制作物）やジオ学習に関する資料等を集約する「探究ルーム（仮称）」への整備を検討する。</p> <p>□生徒の安全管理（防犯対策・事故防止等）の観点から、蔵王高校3 学年（2 学級）と蔵王キャンパス1 ・2 学年の教室を職員室からアクセスしやすい2 階に配置する予定である。</p>

7 P T A 活動・家庭との連携

質問 N o	項 目	分析・考察 ※ ○：結果、◆：本年度の取組、□：次年度の方向性
5	充実したP T A 活動	<p>○自己評価における肯定的評価は8 0 . 8 %で、外部アンケートの保護者と比較すると1 6 . 5 ポイント高かった。</p> <p>◆蔵王キャンパスの開校に伴い、既存（蔵王高校）のP T A（父母教師会）及び教育振興会、部活動後援会の各会則を改正した（P T A 総会で承認）。</p> <p>◆P T A 総会（4 月）の参加状況は2 1 名が出席、6 6 名が委任状提出であった（蔵王高校・蔵王キャンパス計）。</p> <p>◆P T A 会報を年2 回発行（7 月・2 月）し、P T A 活動や学校生活の様子等を会員に伝えている。</p> <p>◆P T A 賛助活動として、あすなる祭（文化祭一般公開日）に屋台を出店していただき、生徒や来場者に好評であった。また、当日は「朝の一声運動」も実施した。</p> <p>◆P T A 事業積立金（周年行事等）の一部を、蔵王高校の閉校に伴い実施予定の「引継式（仮称）」に充てることについて役員会で承認いただいた。</p> <p>□令和8年度末までは2 校合同で会務を進めていくが、蔵王高校の閉校に伴い、改めて会則を見直す必要がある。</p>

6	生徒の健全育成に向けた家庭との協力体制	<p>○自己評価における肯定的評価は88.5%で、外部アンケートの保護者と比較すると8.5ポイント高かった。</p> <p>◆事前連絡のない遅刻者・欠席者等については、担任・学年を中心に保護者へ連絡し、状況を確認するように努めている。また、欠席が3日連続した場合は、副校長へすみやかに報告し、生徒の動向に注視するよう努めている。</p> <p>◆家庭環境に課題が見られる場合は、SC・SSWや各自治体の福祉関係部署に相談するなどの対応を進めている。</p> <p>◆夏季休業前に三者面談（保護者面談）を実施し、学校生活や家庭生活の状況、科目選択の確認、進路に関する相談等を行っている。また、学習面や生活面で課題を抱える生徒については必要に応じて保護者面談を実施するなどして、教育方針に対して理解していただくとともに、家庭における支援を依頼するなどしている。</p> <p>□上記の取組を引き続き進めるとともに、必要に応じてSCやSSWの他、外部機関等との連携に努め、チーム学校として組織的対応を充実させたい。</p>
---	---------------------	--

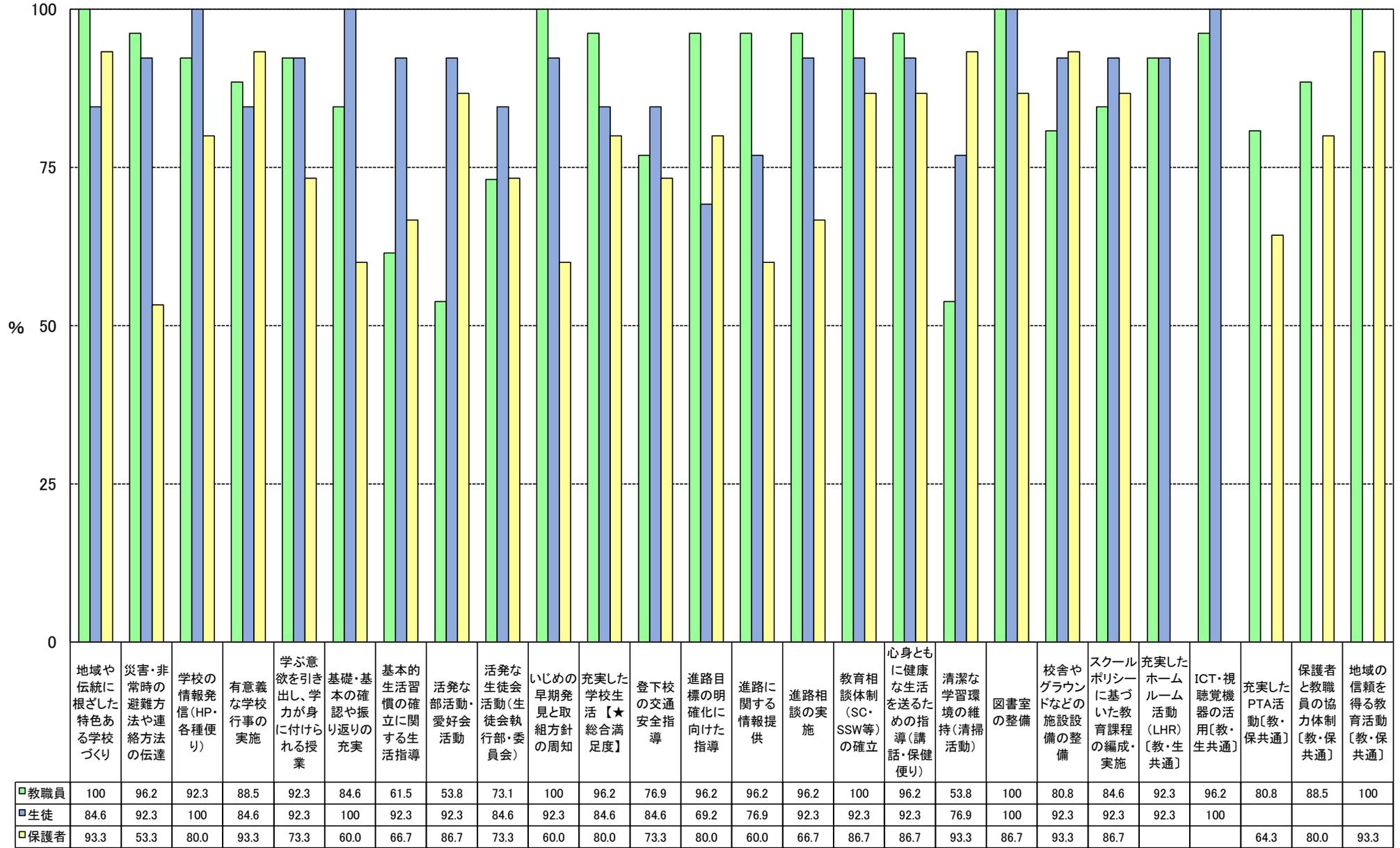
8 その他

質問 No	項目	分析・考察 ※ ○：結果、◆：本年度の取組、□：次年度の方向性
16	充実した学校生活（総合満足度）	<p>○自己評価における肯定的評価は96.2%で、外部アンケートの生徒と比較すると11.6ポイント、保護者との比較では16.2ポイント高かった。</p> <p>□生徒・保護者の肯定的評価は高い水準（80%以上）にあるが、分かる喜びやできる自信を味わわせる学習指導等の工夫、互いに認め合い高め合える支持的風土に満ちた集団づくり（コミュニケーション力の向上）、生徒一人ひとりが活躍し自己肯定感を高められるような学校行事等の工夫・改善等に努めていきたい。</p>
29	校務運営に関する記録の活用（見直し・改善）	<p>○自己評価における肯定的評価は88.5%であった。</p> <p>◆定例（月1回）の分掌部会・学年会、校務運営委員会を実施し、前年度の実績や反省点等を踏まえて工夫・改善に努めている。</p> <p>◆日頃から各部内・学年間における業務に関する情報交換を行い、必要に応じて微調整をしながら各活動を実施している。</p> <p>◆学校行事等については、各分掌等で事後アンケートを実施し次年度に向けた工夫・改善点を都度整理している。</p> <p>◆学校視察を行い、地域に根ざした小規模校の在り方や組織体制に関する検討を進めている。</p> <p>□今後も上記の取組を着実に行っていきたい。また、校務分掌（部分掌・学年・校内委員会）における適正人数の配置や働き方改革の視点から業務の縮減等を図りたい。</p> <p>□これまでの教育実践や各活動のねらい・意義を再確認しながら、不断の見直し・改善を図りたい。</p> <p>□地域との関係性を大切にし、持続可能な協働体制を維持していきたい。令和8年度からの「地域パートナーシップ会議」の設置を検討している。</p>

実施期間	令和7年11月27日(木)～12月12日(金)	区分	回答方法	対象	回答数	回答率	備考
		教職員	Web	26	26	100%	蔵王高校教職員含む
		生徒	Web	17	13	76.5%	1学年
		保護者	調査票	17	15	88.2%	1学年

区分	質問No				質問項目	領域	自己評価(%)			外部アンケート(%)		
	外部アンケート		県共通No	教職員			乖離度		生徒	保護者		
	教職員	生徒					生徒	保護者				
共通	1	1	1	9	地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	特色ある学校づくり	100	15.4	6.7	84.6	93.3	
	2	2	2	10	生徒や保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法を伝えている。	防災教育	96.2	3.9	42.9	92.3	53.3	
	3	3	3	11	学校便り(HP、各種たより)などによって、学校の情報を適切に伝えている。	開かれた学校づくり	92.3	-7.7	12.3	100	80.0	
	4	4	4	8	有意義な学校行事がある。	学校行事	88.5	3.9	-4.8	84.6	93.3	
	8	5	8	2	学ぶ意欲を引き出し、学力が身に付けられるような授業を行っている。	学習指導	92.3	0.0	19.0	92.3	73.3	
	9	7	10		基礎・基本を身に付けるための確認や、振り返りの学習活動が充実している。	学習指導	84.6	-15.4	24.6	100	60.0	
	11	8	11	3	挨拶やマナーなど基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	生徒指導	61.5	-30.8	-5.2	92.3	66.7	
	12	9	12	6	部活動や愛好会活動は活発に行われている。	部活動	53.8	-38.5	-32.9	92.3	86.7	
	13	10	13	7	生徒会活動(生徒会執行部・委員会)は活発に行われている。	生徒会活動	73.1	-11.5	-0.2	84.6	73.3	
	15	12	14	13	日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。また、いじめの問題に対する取組方針を保護者と共有している。	いじめ問題	100	7.7	40.0	92.3	60.0	
	16	13	15	14	生徒の学校生活は充実している。	総合満足度	96.2	11.6	16.2	84.6	80.0	
	17	14	16		生徒の登下校の交通安全に徹底して取り組んでいる。	生徒指導	76.9	-7.7	3.6	84.6	73.3	
	20	15	17	4	進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。	進路指導	96.2	27.0	16.2	69.2	80.0	
	21	16	18		就職や進学などの進路に関する情報を十分に提供している。	進路指導	96.2	19.3	36.2	76.9	60.0	
	22	17	19		進路に関する相談を十分に行っている。	進路指導	96.2	3.9	29.5	92.3	66.7	
	23	19	20	5	教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが必要な時に相談に応じる体制ができています。	教育相談	100	7.7	13.3	92.3	86.7	
	25	20	21		各種講話や保健便り等で、心身ともに健康な生活を送る上で適切な指導を行っている。	保健衛生	96.2	3.9	9.5	92.3	86.7	
	26	21	22		校内は清掃が行き届いており、学習環境に適した状態が保たれている。	保健衛生	53.8	-23.1	-39.5	76.9	93.3	
	27	22	23		図書室は利用しやすいように整備されている。	施設設備	100	0.0	13.3	100	86.7	
	30	24	24	12	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	施設設備	80.8	-11.5	-12.5	92.3	93.3	
	31	25	25	1	スクールポリシーに基づいた教育課程を編成・実施している。	教育課程	84.6	-7.7	-2.1	92.3	86.7	
	教・生	14	11			ホームルーム活動(LHR)は充実している。	生徒指導	92.3	0.0		92.3	
		28	23			タブレット端末・プロジェクタなどのICT・視覚機器を十分に活用している。	学習指導	96.2	-3.8		100	
		5		5		PTA活動は充実している。	PTA活動	80.8		16.5		64.3
	教・保	6		6		生徒の健全育成に向けた保護者と教職員の協力体制ができています。	家庭との連携	88.5		8.5		80.0
		7		7		地域の信頼を得られるよう教育活動を行っている。	開かれた学校づくり	100		6.7		93.3
	独自	10				家庭学習を充実させるための取組を十分に行っている。	学習指導	15.4				
		18				よりよい人間関係を築くためのコミュニケーションスキルの向上を図るための指導に取り組んでいる。	生徒指導	84.6				
		19				道徳教育に取り組んでいる。	生徒指導	76.9				
		24				スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと教員との情報交換が適切に行われている。	教育相談	92.3				
		29				学校行事等の記録を有効に活用している。	組織運営	88.5				
6					複数の教員による授業を実施するなどして、学習内容がわかるまでいねいに指導している。	学習指導				92.3		
生徒		18			総合的な探究の時間「蔵王タイム」の活動は、進路実現に向けて役立っている。	進路指導				84.6		
保護者			9		複数の教員による授業(学習指導)は効果的である。	学習指導					93.3	

令和7年度 学校評価アンケート 肯定的評価(%)の状況 ※ 独自質問除く



<回答数> 26名(蔵王キャンパス教職員・蔵王高校教職員(非常勤講師除く))

No	質問項目	領域	4段階評価			
			1 そう思う	2 大体そう思う	3 あまりそう思わない	4 そう思わない
1	本校は、地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	特色ある学校づくり	65.4%	34.6%	0.0%	0.0%
2	生徒や保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法を伝えている。	防災教育	69.2%	26.9%	3.8%	0.0%
3	保護者や地域に対して、学校便り(HP、各種たより)などによって、学校の情報を適切に伝えている。	開かれた学校づくり	65.4%	26.9%	7.7%	0.0%
4	生徒にとって有意義な学校行事がある。	学校行事	57.7%	30.8%	11.5%	0.0%
5	本校のPTA活動は充実している。	PTA活動	23.1%	57.7%	19.2%	0.0%
6	本校では、生徒の健全育成に向けた保護者と教職員の協力体制ができています。	家庭との連携	23.1%	65.4%	11.5%	0.0%
7	本校では、地域の信頼を得られるよう教育活動を行っている。	開かれた学校づくり	61.5%	38.5%	0.0%	0.0%
8	生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力が身に付けられるような授業を行っている。	学習指導	26.9%	65.4%	7.7%	0.0%
9	基礎・基本を身に付けるための確認や、振り返りの学習活動が充実している。	学習指導	26.9%	57.7%	15.4%	0.0%
10	家庭学習を充実させるための取組を十分に行っている。	学習指導	3.8%	11.5%	69.2%	15.4%
11	生徒に対して、挨拶やマナーなど基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	生徒指導	11.5%	50.0%	38.5%	0.0%
12	学校として、部活動や愛好会活動は活発に行われている。	部活動	3.8%	50.0%	34.6%	11.5%
13	学校として、生徒会活動(生徒会執行部・委員会)は活発に行われている。	生徒会活動	11.5%	61.5%	23.1%	3.8%
14	学校として、ホームルーム活動(LHR)は充実している。	生徒指導	26.9%	65.4%	7.7%	0.0%
15	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	いじめ問題	73.1%	26.9%	0.0%	0.0%
16	生徒の学校生活は充実している。	総合満足度	7.7%	88.5%	3.8%	0.0%
17	学校として、生徒の登下校の交通安全に徹底して取り組んでいる。	生徒指導	7.7%	69.2%	23.1%	0.0%
18	学校として、よりよい人間関係を築くためのコミュニケーションスキルの向上を図るための指導に取り組んでいる。	生徒指導	42.3%	42.3%	15.4%	0.0%
19	学校として、道徳教育に取り組んでいる。	生徒指導	7.7%	69.2%	23.1%	0.0%
20	学校として、進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。	進路指導	42.3%	53.8%	3.8%	0.0%
21	学校として、就職や進学などの進路に関する情報を十分に提供している。	進路指導	61.5%	34.6%	3.8%	0.0%
22	学校として、進路に関する相談を十分に行っている。	進路指導	65.4%	30.8%	3.8%	0.0%
23	学校として、教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが必要な時に相談に応じる体制ができています。	教育相談	80.8%	19.2%	0.0%	0.0%
24	スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと教員との情報交換が適切に行われている。	教育相談	53.8%	38.5%	7.7%	0.0%
25	学校は、各種講話や保健便り等で、心身ともに健康な生活を送る上で適切な指導を行っている。	保健衛生	42.3%	53.8%	3.8%	0.0%
26	校内は清掃が行き届いており、学習環境に適した状態を保っている。	保健衛生	11.5%	42.3%	42.3%	3.8%
27	学校として、図書室は利用しやすいように整備されている。	施設設備	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%
28	学校として、授業や学校行事などでタブレット端末・プロジェクタなどのICT・視聴覚機器を十分に活用している。	学習指導	42.3%	53.8%	3.8%	0.0%
29	学校として、学校行事等の記録を有効に活用している。	校務運営	26.9%	61.5%	7.7%	3.8%
30	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	施設設備	23.1%	57.7%	19.2%	0.0%
31	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程を編成・実施している。	教育課程	23.1%	61.5%	15.4%	0.0%

<回答数> 13名(蔵王キャンパス1学年:在籍17名、11月末現在)

No	質問項目	領域	4段階評価			
			1 そう思う	2 大体そう思う	3 あまりそう思わない	4 そう思わない
1	学校として、地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	特色ある学校づくり	38.5%	46.2%	15.4%	0.0%
2	災害・非常時の避難方法や連絡方法が伝えられている。	防災教育	23.1%	69.2%	7.7%	0.0%
3	学校便り(HP、各種たより)などによって、学校の情報を適切に伝えている。	開かれた学校づくり	30.8%	69.2%	0.0%	0.0%
4	有意義な学校行事がある。	学校行事	15.4%	69.2%	15.4%	0.0%
5	学ぶ意欲を引き出し、学力が身に付けられるような授業が行われている。	学習指導	15.4%	76.9%	7.7%	0.0%
6	複数の教員による授業を実施するなどして、学習内容がわかるまで丁寧に指導してくれる。	学習指導	15.4%	76.9%	7.7%	0.0%
7	基礎・基本が身に付けられるよう、確認や振り返りの学習活動が充実している。	学習指導	23.1%	76.9%	0.0%	0.0%
8	挨拶やマナーなど基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	生徒指導	7.7%	84.6%	7.7%	0.0%
9	部活動や愛好会活動は活発に行われている。	部活動	23.1%	69.2%	0.0%	7.7%
10	生徒会活動(生徒会執行部・委員会)は活発に行われている。	生徒会活動	15.4%	69.2%	15.4%	0.0%
11	ホームルーム活動(LHR)は充実している。	生徒指導	7.7%	84.6%	7.7%	0.0%
12	学校は、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	いじめ問題	7.7%	84.6%	7.7%	0.0%
13	自分にとって、学校生活は充実している。	総合満足度	15.4%	69.2%	15.4%	0.0%
14	学校は、生徒の登下校の交通安全に配慮している。	生徒指導	7.7%	76.9%	15.4%	0.0%
15	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	進路指導	7.7%	61.5%	30.8%	0.0%
16	進路に関する情報提供が適切にされている。	進路指導	7.7%	69.2%	23.1%	0.0%
17	先生は、進路に関する相談に十分に応えてくれる。	進路指導	23.1%	69.2%	7.7%	0.0%
18	総合的な探究の時間「蔵王タイム」の活動は、進路実現に向けて役立っている。	進路指導	7.7%	76.9%	15.4%	0.0%
19	先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。	教育相談	7.7%	84.6%	7.7%	0.0%
20	心身ともに健康な生活を送る上で適切な指導が行われている。	保健衛生	7.7%	84.6%	7.7%	0.0%
21	校内は清掃が行き届いており、学習環境に適した状態に保たれている。	保健衛生	7.7%	69.2%	15.4%	7.7%
22	図書室は利用しやすいように整備されている。	施設設備	7.7%	92.3%	0.0%	0.0%
23	授業や学校行事などで、タブレット端末・プロジェクタなどのICT・視聴覚機器が活用されている。	学習指導	23.1%	76.9%	0.0%	0.0%
24	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	施設設備	7.7%	84.6%	7.7%	0.0%
25	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	教育課程	0.0%	92.3%	7.7%	0.0%

<回答数> 15名(蔵王キャンパス1学年保護者:対象17名 11月末現在)

No	質問項目	領域	4段階評価			
			1 そう思う	2 大体そう思う	3 あまりそう思わない	4 そう思わない
1	学校として、地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	特色ある学校づくり	40.0%	53.3%	6.7%	0.0%
2	保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法が伝えられている。	防災教育	20.0%	33.3%	40.0%	6.7%
3	保護者に対して、学校便り(HP、各種たより)などによって、学校の情報を適切に伝えている。	開かれた学校づくり	46.7%	33.3%	13.3%	6.7%
4	お子様にとって、有意義な学校行事がある。	学校行事	40.0%	53.3%	6.7%	0.0%
5	本校のPTA活動は充実している。	PTA活動	20.0%	40.0%	33.3%	0.0%
6	本校では、生徒の健全育成に向けた保護者と教職員の協力体制ができています。	健全育成	26.7%	53.3%	20.0%	0.0%
7	本校は地域の信頼を得る教育活動を行っている。	地域連携	26.7%	66.7%	6.7%	0.0%
8	お子様の学ぶ意欲を引き出し、学力が身に付けられるような授業が行われている。	学習指導	33.3%	40.0%	20.0%	6.7%
9	複数の教員による授業(学習指導)は効果的である。	学習指導	26.7%	66.7%	0.0%	6.7%
10	基礎・基本が身に付けられるよう、確認や振り返りの学習活動が充実している。	学習指導	26.7%	33.3%	40.0%	0.0%
11	生徒に対して、挨拶やマナーなど基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	生徒指導	13.3%	53.3%	26.7%	6.7%
12	学校として、部活動や愛好会活動は活発に行われている。	部活動	20.0%	66.7%	13.3%	0.0%
13	学校として、生徒会活動(生徒会執行部・委員会)は活発に行われている。	生徒会活動	13.3%	60.0%	26.7%	0.0%
14	学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている。	いじめ問題	13.3%	46.7%	40.0%	0.0%
15	お子様の学校生活は充実している。	総合満足度	26.7%	53.3%	13.3%	6.7%
16	学校は、生徒の登下校の交通安全に配慮している。	生徒指導	13.3%	60.0%	20.0%	6.7%
17	お子様の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	進路指導	13.3%	66.7%	20.0%	0.0%
18	お子様の進路について学校から十分に情報が提供されている。	進路指導	13.3%	46.7%	40.0%	0.0%
19	教職員は、お子様の進路に関する相談に十分に応えてくれる。	進路指導	20.0%	46.7%	33.3%	0.0%
20	教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができています。	教育相談	33.3%	53.3%	13.3%	0.0%
21	学校では各種講話や保健便り等で、心身ともに健康な生活を送る上で適切な指導が行われている。	保健衛生	13.3%	73.3%	13.3%	0.0%
22	校内は清掃が行き届いており、学習環境に適した状態に保たれている。	保健衛生	33.3%	60.0%	6.7%	0.0%
23	生徒に対して、図書室は利用しやすいように整備されている。	施設設備	33.3%	53.3%	13.3%	0.0%
24	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	施設設備	33.3%	60.0%	6.7%	0.0%
25	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	教育課程	26.7%	60.0%	13.3%	0.0%